

加藤議員

小中学校再編について

問地区別座談会や校区別座談会が行われてきたが、そこでは多様な意見や質問が出され、問題点が明らかになってきた。

- ① 中学校の再編の結論を来年6月に出すというが、半年や1年で市民の理解・納得が得られるとはとても思えない。
- ② 体育館建設と学校再編を絡めることはやめるべき。
- ③ 再編で児童・生徒が連合運動会や音楽会などに出る機会が減り、学校間の切磋琢磨も減る。これは教育的ではないと思うが考えを伺う。
- ④ 素案の検討結果を示し、対話も行うというが、最終的な意見集約として再度市民アンケートをとるべき。

答①現在の案で進めるとすれば、その意思決定は来年6月までにすること。必ずしも十分な時間があるとは言えないが、これから市民の意見を的確にお聞きする努力をしながら、妥当な結論を導き出していきたい。

②市民が納得する、より良い案が出されれば今の案にこだわることではない。そのため、これま

その他の質問

- ・30人学級の導入について
- ・国民健康保険制度について
- ・子どもの医療費無料化について

でお聞きした提案の検討を進めているところ。

③市内における学校間の切磋琢磨はなくなるが、学校内での切磋琢磨は行われるし、広域的な学校間の切磋琢磨をすべきと考えている。

④改めて検討委員会を立ち上げるといふ手順も一つの有力な選択肢であろうと考えている。



門議員

勝山市の林道行政について

問①林道の整備がなされていない地域の林道整備をどのように進めるのか。

②一般林道の舗装率はどのくらいか。

③毎年どの程度舗装が延長されているか。

④林道維持管理における経費、地元負担のあり方はどうか。

答①現段階では、新たな林道開設への要望はないのが現状である。

②舗装率は約40%。

③舗装延長は約400m。

④県や市の制度を広く活用することで、少しでも地元負担の軽減を図るよう支援していくということが基本的な考え。

リサイクル率の向上対策について

問人口が減少しているにも関わらず、ごみ量はそれほど減少していない。現在の分別の問題点は何か。またリサイクルの現状はどのようなになっているか。

答分別基準の変更で、以前は資源としていたごみが燃やせるごみとなったことや、事業系ごみの増加も一因と思われる。

リサイクルの現状として、ペットボトルの蓋によるエコキャップ運動が全国で行われており、市においても社会福祉協議会がキャップの回収を行っている。また、食用廃油のリサイクルを市内の福祉施設が行っている。

